

2026年度 第5回（10月）北辰テスト対策 予想問題 解答・解説

英語

2 問1（4点）

borrow

答え: borrow

- ・日本語のメモ「自分の望遠鏡を持っていなくても、科学部から1台借りることができます」に対応。
- ・"You can (borrow) one from the Science Club and give it back after the event." (one = a telescope の代用。「あとで返す」とあるので get ではなく borrow が確定)
- ・borrow = 「(無料で) 借りる」。use (使う) はメモの「借りる」との対応が不十分で不可。rent は有料の貸借で不可。

2 問2 (A)（3点）

ウ (held)

答え: (A) ウ held

- ・"The event will be (A) at the school ground." = メモ「校庭で開きます」。
- ・受動態+助動詞 will be + 過去分詞。hold (開催する) - held - held。ア made (作られる)、イ washed (洗われる)、エ sold (売られる) はイベントの説明として意味を成さない。
- ・訳: イベントは校庭で開催されます。

2 問2 (B)（3点）

イ (bring)

答え: (B) イ bring

- ・"please (B) something warm to drink" = メモ「温かい飲み物を持ってきてください」。
- ・something warm to drink = 「何か温かい飲み物」(something+形容詞+to不定詞の語順)。ア sell (売る)、ウ teach (教える)、エ answer (答える) は文脈に合わない。

2 問2 (C)（3点）

ウ (November)

答え: (C) ウ November

- ・"If it rains, we will have the event on (C) 7." = メモ「雨の場合は、観察会は11月7日（土）に行います」。
- ・本開催が October 24、申込締切が October 16 という時系列との整合にも注意。10月の次の月 = November。

2 問3 (4点)

(解答例) Let's go to Star Night together. The members of the Science Club will teach us how to use a telescope, so you don't have to worry. I'm sure the stars will be very beautiful.

解答例: Let's go to Star Night together. The members of the Science Club will teach us how to use a telescope, so you don't have to worry. I'm sure the stars will be very beautiful.

訳: 一緒にスターナイトに行こうよ。科学部の部員が望遠鏡の使い方を教えてくれるから、心配なくていいよ。星はきつととてもきれいだよ。

採点ポイント:

- ・語群 (together / beautiful / teach) から1語以上使用
- ・1文目=Leoと一緒に観察会に参加しようと誘う内容、2文目以降=理由・アドバイス
- ・全体で2文以上
- ・Leoの不安(望遠鏡を使ったことがない・星の名前を知らない)に応答する内容だとなお良い
- ・文法・スペルの正確さ

3 問1 (3点)

B

答え: B

・挿入文「However, I didn't want to give up. (しかし、ぼくはあきらめたくありませんでした)」は、直前の挫折の描写(「最初は音を出すことさえできなかった」)を However で受け、直後の「入部以来ずっと練習し続けている」(＝あきらめなかった行動の中身)に自然につながる。

・A の位置は「おじのように演奏したくて入部した」の直後で、まだ困難が何も出てきていないため「あきらめなくなかった」が唐突。しかも直後の文が However で始まり、逆接が二重になって流れが壊れる。

・C の位置は「今ではトランペットを本当に楽しんでいる」の直後で、前向きな内容と「あきらめなくなかった」という逆接が矛盾する。

3 問2 (4点)

2番目=ウ (been)・4番目=ア (since)

答え: 2番目 = ウ (been), 4番目 = ア (since)

・正しい語順: **have been practicing since** → "I **have been practicing since** I joined the band."

・1: have (イ) / 2: been (ウ) / 3: practicing (エ) / 4: since (ア)

・**現在完了進行形 (have been + -ing) + since 節**。第5回の出題範囲で新たに解禁される単元を語順整序で直撃。2023年度第5回(実試験)でも "have been studying for ~ hours" が初出しており、「第5回＝現在完了進行形の初出回」という回次ローテーションに沿った出題。

・直後の "I practice for two hours every day." (今も毎日練習している) から、「過去から現在まで動作が継続中」＝進行形つきの現在完了を選ぶ。

・**別語順の検証**: have practicing been / been have practicing 等はいずれも文法的に不成立。since を文頭に置く "since have been practicing" も主語の位置が破綻し不成立。正答は一意。

・訳: ぼくは吹奏楽部に入ってからずっと練習し続けています。

3 問3 (3点)

ウ (happy)

答え: ウ happy

- ・ "my uncle listened to it and looked very ()" = 初めて曲を上手に演奏できた場面。おじは「とてもうれしそうに見えた」。
- ・ **look + 形容詞 (～に見える)**。2023年度第5回 (実試験) 問3も looked (look+形容詞) を問うており、同じ回次の定番。ア sleepy (眠そう)、イ angry (怒っている)、エ hungry (空腹の) は文脈に合わない。
- ・ 訳: おじはそれを聞いて、とてもうれしそうでした。

3 問4 (4点)

given to

答え: given to

- ・ "The trumpet was (**given to**) Wataru by his uncle when Wataru entered junior high school."
- ・ 本文根拠: "my uncle **gave this trumpet to me**" (能動態・SVOO型) → 設問文ではトランペットが主語なので受動態 **was + given + to + 人** に変換する。
- ・ 9月新出の受動態は「導入されたら消えずに累積する」文法。9月版予想の taken by (by つき単純受動態) に対し、今回は **give A to B → A is given to B** という SVOO 型の受動態で継続出題。
- ・ give - gave - **given** の不規則変化に注意。× gave to / × given by (by では「おじによってワタルへ」の to が消えて不成立)。
- ・ 訳: そのトランペットは、ワタルが中学校に入学したとき、おじによってワタルに与えられました。

3 問5 (4点)

ウ

答え: ウ Wataru's uncle sometimes gives Wataru advice at Wataru's house.

- ・ 本文 "My uncle sometimes **comes to my house and gives me advice.**" と一致。
- ・ ア: 本文 "he is **still good at it**" (今でも上手) と明確に矛盾。
- ・ イ: 本文 "At first, I **couldn't even make a sound**" (最初は音さえ出なかった) と明確に矛盾。
- ・ エ: 演奏するのは「古い日本の歌 (an old Japanese song)」を「町の秋のコンサート」で。a new American song と明確に矛盾。

4 問1 (4点)

ドイツでは、ペットボトル入りの飲み物を買うときに少し多くお金を払い、空のボトルを店に返すと、そのお金を返してもらえるということ。

答え例: 「ドイツでは、ペットボトル入りの飲み物を買うときに少し多くお金を払い、空のボトルを店に返すと、そのお金を返してもらえるということ。」

- ・ 下線部①の That は、直前のEmmaの発言 "In Germany, when we buy a drink in a plastic bottle, we pay a little more money. If we take the empty bottle back to the store, we can get the money back." の**仕組み全体**を指す。
- ・ 採点ポイント: 「(飲み物を買うとき) 少し多くお金を払う」「空のボトルを店に返す」「お金が戻ってくる」の3要素。直後のHarutoの発言 (お金を返してほしいからボトルを店に持っていく) と因果がつながる内容か。
- ・ 許容答案: 「ドイツのペットボトルの返金の仕組み (デポジット制度)」のような要約でも、3要素のうち「返すとお金が戻る」の中核が具体的に入っていれば正答扱いとする。

4 問2 (4点)

2番目=ウ (important)・4番目=イ (us)

答え: 2番目 = ウ (important), 4番目 = イ (us)

- ・正しい語順: **is important for us to** → "I think it **is important for us to** reduce plastic garbage in our daily lives."
- ・1: is (エ) / 2: important (ウ) / 3: for (オ) / 4: us (イ) / 5: to (ア)
- ・**It is ... for 人 to ~ (形式主語構文)**。第5回の出題範囲で新たに解禁される単元。it は形式上の主語で、真主語は to reduce 以下。「人にとって～することは…だ」。
- ・**別語順の検証**: "is important to us for (reduce)" は for の後に動詞原形が続けず不成立。"is for us important to" も語順として不成立。正答は一意。
- ・**訳**: 私たちが日常生活の中でプラスチックごみを減らすことは大切だと思う。

4 問3 (3点)

イ

答え: イ Haruto watched a news program about plastic garbage last night.

- ・本文 2 のHarutoの発言 "I watched a news program about plastic garbage last night." と一致。
- ・ア: 本文 1 は "My family **stopped buying** plastic bottles last year" (買うのをやめた) で、started to buy と正反対。
- ・ウ: 本文 1 "we **don't see many** plastic bottles on the streets in my country" と明確に矛盾。
- ・エ: 本文 2 "That's a **big** problem in the world" と明確に矛盾。

4 問4 (3点)

イ (better)

答え: イ better

- ・"Making less garbage is (**better**) than recycling it." = 「ごみを減らすことは、リサイクルすることよりよい」。
- ・**動名詞主語＋比較級 than**。直前の「リサイクルにはたくさんのエネルギーが必要 (=リサイクルだけでは不十分)」という流れから判断する。ア weaker (より弱い)、ウ colder (より冷たい)、エ angrier (より怒った) は文脈に合わない。
- ・**訳**: ごみを減らすことのほうが、ごみをリサイクルすることよりよいのです。

4 問5 (4点)

ア

答え: ア In Japan, most plastic bottles are collected and recycled.

- ・本文 3 のAoiの発言 "In Japan, most plastic bottles are collected and recycled." と一致 (**受動態**)。
- ・イ: 本文は "recycled into **many things**, like clothes, pens, and new bottles" (いろいろな物になる) で、only into new bottles と明確に矛盾。
- ・ウ: Harutoの「リサイクルすれば十分？」に対しEmmaは "**I don't** think so." と答えており矛盾。
- ・エ: Emmaの発言は "Recycling needs **a lot of** energy" で、only a little energy と明確に矛盾。

4 問6 (3点)

ウ

答え: ウ That's a good idea.

・ Harutoの「うちの学校にも給水機があれば、もっと多くの生徒が自分のボトルを持ってくる」という提案的発言への応答。直後の "Let's ask our teachers about it." (先生に聞いてみよう) と自然につながるのは賛同のウ。

・ ア I'm sorry to hear that. (お気の毒に) は悪い知らせへの返答、イ No, thank you. (結構です) は申し出の辞退、エ Here you are. (はい、どうぞ) は物の受け渡しで、いずれもここでは成立しない。

4 問7 (4点)

instead of

答え: instead of

・ "Emma decided to bring her own bottle every day (**instead of**) buying drinks in plastic bottles."

・ 本文 5 のEmmaの発言 "From now on, I will bring my own bottle every day **instead of** buying drinks in plastic bottles." が根拠。設問に「本文中で使われている表現」と指定があるため instead of のみ正答 (rather than は本文にないので不可)。

・ **instead of + 動名詞** = 「～するかわりに」。前置詞 of の後ろは動名詞 (buying) になる点もあわせて確認。

・ 訳: エマは、ペットボトル入りの飲み物を買うかわりに、毎日自分のボトルを持ってくることに決めました。

5 問1 (3点)

ウ

答え: ウ In Oliver's school in Japan, the students serve the school lunch by themselves.

・ 本文 "the students **serve the lunch by themselves**" と一致。

・ ア: 本文 "In Australia, my school **doesn't have** school lunch" と明確に矛盾。

・ イ: 来日は "two **months** ago" (2か月前) であり、two years ago ではない。

・ エ: 本文 "I have **never** seen a system like this in Australia" と明確に矛盾。

5 問2 (3点)

イ

答え: イ Oliver's classmates told him to try a little every day.

・ 本文 "my classmates said to me, "**Try a little every day**, and you will like it."" と一致 (tell + 人 + to不定詞への言い換え)。

・ ア: 本文 "I **didn't like** fish dishes" (最初は魚の料理が好きではなかった) と明確に矛盾。

・ ウ: 本文 "**Many** vegetables for our school lunch are grown by farmers **in this city**" (多くはこの市の農家が育てている) ため、「すべて外国から来る」は明確に矛盾。

・ エ: 先生の言葉は "eating local food is **good** for our health and for the earth" で、bad と正反対。

5 問3 (6点)

(解答例) ① My favorite Japanese food is miso soup. ② My mother makes it for me every morning, and it makes me warm. Also, we can put many kinds of vegetables in it, so it is good for our health.

解答例:

① My favorite Japanese food is miso soup.

② My mother makes it for me every morning, and it makes me warm. Also, we can put many kinds of vegetables in it, so it is good for our health.

訳: ① 私の好きな日本の食べ物はみそ汁です。② 母が毎朝作ってくれて、体が温まります。また、いろいろな種類の野菜を入れられるので、健康にもよいです。

採点ポイント:

- ・ 1文目: **My favorite Japanese food is** で始まり、好きな日本の食べ物が伝わる
- ・ 2文目以降: 2文以上で、その食べ物が好きな具体的な理由
- ・ 全体3文以上
- ・ 語順・時制・スペル
- ・ Oliverのスピーチ (下線部④「日本の食べ物についてもっと知りたい」) への応答として自然な内容